



謹賀新年



幹事長挨拶

新年あけましておめでとうございませう。市民の皆様におかれましては、輝かしい令和4年の新春をご家族お揃いでお迎えのこととお慶び申し上げます。新和会も達成4年目となり、13名の所属議員で新年を迎えられることに心から感謝申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、ワクチン接種などの取り組みが功を奏したこともあり、11月以降の感染状況は一定の落ちつきを見せていましたが、感染力が極めて強いとされる新たな変異株が国外で発生し、その後間もなく国内でも確認されるなど、感染の長期化が予想されています。

そのような状況の中、12月22日に全日程を終了した令和3年11月通常会議においては、新型コロナウイルス感染症の追加対策経費や、会派として継続して要望して参りました小学生1年生から3年生用のタブレット端末導入経費などを盛り込んだ補正予算をはじめ、地域産業の振興や交通安全施策の一層の推進を図るための新たな条例制定を含めた全議案を会派内で慎重に審議し、全議案を可決・同意いたしました。

先行きの不透明なコロナ禍の中、今後も行政との連携を図りつつ、感染防止対策の強化、困難に直面されている方々への支援、また、地域経済の活性化対策など、ウイルス・ポストコロナを見据えた施策を積極的に推進して参りたいと考えております。

結びに、本年も市民の皆様とともに夢がふられるまち大津の実現に向け、会派一丸となつて取り組む所存ですので、更なるご指導・鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

新和会 幹事長 津田新三

新和会は市民の皆様 の代弁者として 県都大津の未来を 創造します。



つだ しんぞう
幹事長 津田新三
〒520-0242 本堅田五丁目9番15号
“住み続けたい町大津”を目指し、ハード、ソフト事業を相互に絡ませながら、34万大津市民の暮らしやすさに貢献出来るよう、どんな時も焦らず驕らず、堅実に取り組みます。



きりや まこと
議長 桐田真人
〒520-2141 大江七丁目7番32の3号
日々、真剣勝負。真面目に、丁寧に、地道に、議員活動に取り組み、ひとつひとつ確かな結果を積み重ね、信頼され期待される政治を目指します。



なかの ひろこ
副幹事長 仲野弘子
〒520-0242 本堅田二丁目27番14号
令和4年を迎え、道路インフラ整備、教育、環境の充実を目指し、今後とも皆様のご意見をお伺いしながら未来を担う子どもたちの為、市民の為に誠心誠意取り組んで参ります。



かわむら ひろし
副幹事長 河村浩史
〒520-0802 馬場二丁目6番30-702号
皆様におかれましては、すがすがしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。コロナに負けず、幸多き年となりますことをご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。



かんだ けんじ
幹事 神田健次
〒520-0502 南小松1118番地の1
令和4年を迎え、議員生活も4年目、日々、丁寧に、議員活動を行い皆様の要望に応えるために行政との「かけ橋」となるよう頑張っております。



ほそかわ としゆき
幹事 細川俊行
〒520-0112 日吉台二丁目12番10号
議員4年目を迎えます。今年も教育と福祉にこだわり取り組んでいきます。特に、課題の大きい教育環境の整備は言うまでもなく、高齢者施策、障がい者施設の整備に力を注ぎます。



こうまつ まさとく
政調会長 幸光正嗣
〒520-2153 一里山一丁目3番6-801
**感謝の気持ちを大切に
本年も全力で
取り組みます。**



かさたに ようすけ
副政調会長 笠谷洋佑
〒520-0232 真野一丁目6番1号
コロナ禍を通じ、政治や行政を身近に感じる方が増えました。ご意見を積極的に聞き、実際の取り組みに反映させることにより、更に住みやすい大津市を目指してまいります!



にしむら かずのり
西村和典
〒520-0362 伊香立上龍華町527番地
今年こそは! 昨年はコロナで始まりコロナで終わった。オリンピックも成功し、世界に認められた。リーダーも変わり、日本は! 大津は! 更に良くなり夢ある大津に! 心機一転!!



いうち りつこ
井内律子
〒520-0821 湖城が丘29番27号
議員生活も、早いもので4年目。医療・福祉の問題から地域の問題まで、あらゆる事に微力ながら向き合ってきました。一期一会を大切に市民の皆様へ寄り添って取り組みます。



ばん たかあき
伴孝昭
〒520-0043 中央四丁目11番9号
琵琶湖に面した豊かな自然景観と歴史・文化資源を活用した中心市街地の活性化とまちづくりに取り組んでまいります。



はた けんじ
八田憲児
〒520-0027 錦織一丁目13番4号
感染対策が続く中、新しい生活様式をつくり、この難局を乗り越えなければなりません。11年間の議員経験で培った実績を活かし、市民のみなさんの身近な議員として活動します。



たにい よしのり
鳥井義徳
〒520-0105 下阪本六丁目4番3号
安心安全なまちを目指し、災害時の避難所の在り方、美しい琵琶湖の保全、街の良さをいつまでも保てる、子どもが安心して遊べるまちの実現を、さらに推し進める寅年といたします。

質疑・一般質問

※質問、答弁は一部抜粋です。
詳しくは天津市議会ホームページをご覧ください。(令和3年11月通常会議)

幸光 正嗣

Q (仮称)青山第二小学校建設用地の利活用について



地元では検討委員会が立ち上がり、長期にわたり学校が建設されないことに対し様々な感情をお持ちである。本市としての活用方法を明確にするとともに、具体的な方針を示すべく、文教施設や民間教育施設の誘致など地域住民と協働で検討すべきと考えるが見解を伺う。

A 青山地域の児童数は減少傾向に転じており、新たな学校を建設することは考えていない。今後の利活用については天津市公有財産有効活用基本方針に加え、地区計画の内容を踏まえた上で、市長部局とも連携を図り、活用を図っていく。また、必要に応じて適宜地域住民にも説明していく。

西村 和典

Q 公共施設における脱炭素社会の実現に向けた取り組みについて

環境美化センター及び現在建設中の北部クリーンセンターは、余熱を利用した蒸気タービン発電を行い、一般家庭に換算すると約1万7千世帯分の電力を発電するとされ、サーマルリサイクルの手法を取り入れた熱回収の手法はSDGsの理念にかなった持続可能な取り組みであると高く評価している。今後、庁舎整備問題と公共施設における脱炭素社会の実現に向け、どのように取り組むのか見解を伺う。

A 現在策定中の庁舎整備基本構想においても、高効率な設備システムの導入などにより、大幅な省エネルギー化を実現した上で、再生エネルギーを積極的に活用し、エネルギー自立度を極力高めるZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)を視野に入れ検討していく。



仲野 弘子

Q 短期整備路線の周辺開発に対する指導や調整について



地域と調和した開発行為は一定必要だと考えるが、都市計画道路の短期整備路線の周辺開発に対し、どのような指導や調整を行うのか見解を伺う。

A 未着手となっている路線の周辺で都市計画決定に合致した道路計画や建物の配置計画がされている開発行為に対しては、本市道路事業の支障とならないよう開発事業者と調整を図り、また関係法令の範囲の中で、一方的でなく本市道路事業と調和したものとなるよう努めていく。

笠谷 洋佑

Q コロナ禍を踏まえた子育て世帯に対する経済的支援について

コロナ禍により子育て世帯を取り巻く環境も大きく変化し、経済的理由で結婚や出産を諦める家庭も少なくはない。これを契機に、子育て世帯への経済的支援の対象や基準について再検討すべきと考えるが見解を伺う。

A 子育て世帯に対する経済的支援としては、すでに本市独自に、ひとり親家庭や新生児、乳児のいる家庭への給付を行っているが、今後も必要性や効果などを見極めながら、支援のあり方について検討していく。



鳥井 義徳

Q 児童遊園地管理の地域住民との協働の取り組みについて

児童遊園地管理の地域住民との協働の取り組みについて、今後のスケジュールと、この取り組みによる効果と懸念事項について見解を伺う。

A 今後の予定としましては、令和5年度からの既存児童遊園地の適正化事業の着実な開始に向けて、来年度はその準備を進めていく。これにより各地域の実情に応じた管理が可能となることや、管理経費の縮減などが効果として見込める一方、懸念事項としては、各地域の実情が異なることから、統一した管理の仕組みを構築することが難しいことなどが考えられる。



私たち新和会に
皆さまのお声をお寄せください

FAX 077-521-1010 TEL.077-528-2624

※会派議員控室の為、応答できない場合がございます。ご了承下さい。

Innovational faction
新和会
大津市議会 OTSU SHINWA-KAI

新和会 検索

otsu-shinwakai.com

新和会
ホームページ



YouTube
チャンネル



細川 俊行

Q 「こども110ばんのおうち」として設置されている安全コーンについて

市内に3,000個設置の安全コーンは、壊れかけや黄色のコーンが黒ずんでいる状態もあり、信頼感や安心感を与える状況になく、加えて、街の景観もよくない状況である。適切な更新のための予算の確保について伺う。



A 「こども110ばんのおうち」制度は、「緊急避難先」として、平成9年より本市独自に「安全コーン」を設置した。「緊急避難先」、「犯罪の抑止」となっていると評価している。各警察署に事務局がある「子ども安全リーダー連絡協議会」と連携し、破損及び黒ずんだ「安全コーン」などがある現状を踏まえ、適切な設置・管理に努める。

伴 孝昭

Q 大津駅前公園の事業再構築のスケジュール感について

事業中断から1年以上が経過する中で、大津駅前公園の事業再構築についてどのように考えているか、スケジュール感と共に伺う。

A 大津駅前公園については、公園の規模や事業採算性の問題から、これまで進めてきた「Park-PFI制度」を転換し、事業者の自由度は制限されるものの、事業リスクや初期投資等の負担が少ない「設置管理許可制度」を採択する方針とした。事業スケジュールは、今年度に募集要項等の作成を行い、令和4年度に事業者の募集をする。また事業者の出店に合わせて事業規模に見合った、だれもが使えるトイレを再築していく予定である。

神田 健次

Q 個別避難計画作成に向けた避難行動要支援者名簿の活用について

避難行動要支援者への対応は、名簿作成にとどまらず、個別の状況把握と個別避難計画の作成に踏み込んだ取り組みが求められるが、市が作成した避難行動要支援者名簿の地域での具体的な運用と活用状況について伺う。

A 市と協定を締結した17学区の避難支援等関係者に名簿を提供し、地域における見守りの仕組みづくりなどに活用されている。また、残りの19学区には、個別避難計画の役割や必要性を丁寧に説明していく。

河村 浩史

Q 文化財家族参観事業の周知と対象施設の拡大について

以前は、広報おおつの紙面の中のチケットによって、毎月第3日曜日に無料で参観が可能となっていた文化財家族参観事業だが、現在の「水道・ガス等ご使用量のお知らせ」通知がチケットの代わりとなる方式は、周知が不十分であり、周知に工夫が必要と考えるが見解を伺う。

A 今後、協力先である、市内の各社寺や企業局とも協議し、より多くの市民に利用していただけるよう検討していく。また、来年度からは対象施設として、歴史博物館を加えることを検討しており、過去に本事業の対象となっていた他の施設についても、今後、関係部局と協議をしていく。

井内 律子

Q 医療的ケア児・者を含む障害児・者に対する支援について



サービス等利用計画についてはセルフプランの方が1,000人を超える状況である。相談支援専門員の体制強化に対する本市の見解を伺う。

A セルフプランになることで、利用者が適正なサービスを使いながら生活が送れるような支援につながらない恐れや相談支援専門員によるモニタリングがないため虐待など不適切な支援が放置されるリスク等があり、昨年度から新たに相談支援専門員を増員する事業所に対する補助制度を開始し増員に努めている。また、相談支援専門員の確保施策の更なる充実を図るため、国、県に対し、処遇改善を求め要望している。

トピック

新型コロナウイルスの 接種情報

新型コロナウイルスの感染は落ち着きを見せ、以前の経済活動を意識した新しい生活様式へとシフトしつつある中、大津市では医療従事者を対象として昨年12月から3回目のワクチン接種を開始しており、1月からは順次対象者を増やしながら高齢者への接種を進めていきます。

1・2回目の接種では約1200の医療機関が接種会場となりましたが、今回の接種では約1500の医療機関に拡大される予定です。

ワクチン接種にご協力いただきます多くの医療機関並びに医療関係者の皆さまに對しまして、この場をお借りしてお礼申し上げます。

国内では、これまでより感染力が強いとされる新たな変異株が各地で確認されるなど、まだまだ予断を許さない状況が続いています。

みなさんも、マスク・手洗い・消毒・検温はもちろん、人が集まるこの時期、できる限り少人数でのマスク会食を心がけるなど、引き続き感染対策の徹底をお願いします。

